

# インカムビルダー（毎月決算型）

## 世界通貨分散コース

追加型投信／内外／資産複合

### 受益者の皆さまへ

毎々格別のお引立てに預かり厚くお礼申し上げます。

当ファンドは、世界（日本および新興国を含みます。）の債券・株式等に実質的に投資し、加えて為替取引による世界の10通貨への投資効果の追求を行い、安定した収益の確保と信託財産の中長期的な成長を目指して運用を行います。

当作成対象期間につきましても、これに沿った運用を行いました。ここに、運用経過等をご報告申し上げます。

今後とも一層のご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。

作成対象期間 2019年4月24日～2019年10月23日

第58期	決算日：2019年5月23日	
第59期	決算日：2019年6月24日	
第60期	決算日：2019年7月23日	
第61期	決算日：2019年8月23日	
第62期	決算日：2019年9月24日	
第63期	決算日：2019年10月23日	
第63期末 (2019年10月23日)	基準価額	6,817円
	純資産総額	6,740百万円
第58期～ 第63期	騰落率	△3.3%
	分配金合計	300円

(注1) 騰落率は分配金再投資基準価額の騰落率を表示しています。  
(注2) △(白三角)はマイナスを意味しています(以下同じ)。

当ファンドは投資信託約款において、運用報告書（全体版）を電磁的方法によりご提供する旨を定めております。運用報告書（全体版）は、下記のホームページにアクセスし、「基準価額一覧」等から当ファンドの名称を選択いただき、ファンドの詳細ページから閲覧、ダウンロードすることができます。また、運用報告書（全体版）は受益者のご請求により交付されます。交付をご請求される方は、販売会社までお問い合わせください。

### ■運用報告書に関するお問い合わせ先

コールセンター **0120-104-694**

(受付時間：営業日の午前9時から午後5時まで)

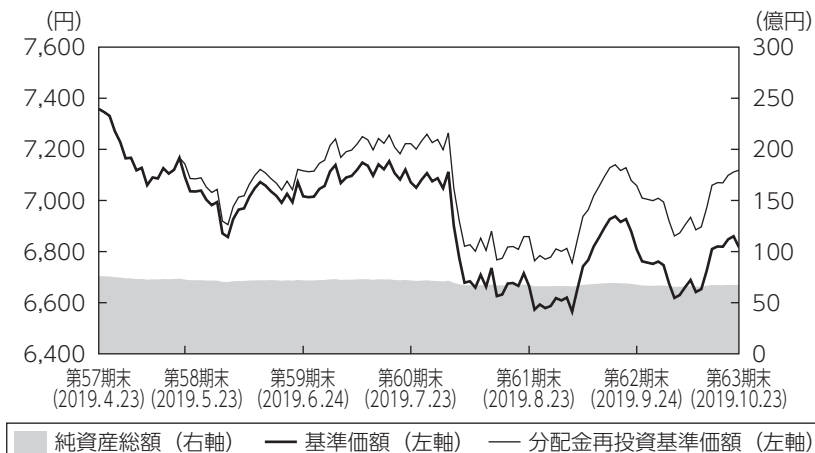
お客さまのお取引内容につきましては、購入された販売会社にお問い合わせください。

アセットマネジメントOne株式会社

東京都千代田区丸の内1-8-2 <http://www.am-one.co.jp/>

## 運用経過の説明

### 基準価額等の推移



第58期首： 7,358円  
 第63期末： 6,817円  
 (既払分配金300円)  
 騰落率：  $\Delta 3.3\%$   
 (分配金再投資ベース)

- (注1) 分配金再投資基準価額は、税引前の分配金を再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものではありません。
- (注2) 分配金を再投資するかどうかについてはお客さまがご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。従って、お客さまの損益の状況を示すものではありません。
- (注3) 分配金再投資基準価額は、期首の基準価額に合わせて指数化しています。
- (注4) 当ファンドはベンチマークを定めておりません。

### 基準価額の主な変動要因

米ドル建ての外国投資信託「ストラテジック・インカム・ファンド（クラスMC）」受益証券への投資を通じて、世界の債券・株式等に投資を行う一方で、各国の通貨から選定した通貨（以下「取引対象通貨」といいます）への投資効果を追求するため為替取引を行いました。取引対象通貨が対円で下落したことを主因に、基準価額は下落しました。

## 1 万口当たりの費用明細

項目	第58期～第63期		項目の概要
	(2019年4月24日 ～2019年10月23日)		
	金額	比率	
(a) 信託報酬	42円	0.610%	(a) 信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率 期中の平均基準価額は6,927円です。 投信会社分は、信託財産の運用、運用報告書等各種書類の作成、基準価額の算出等の対価 販売会社分は、購入後の情報提供、交付運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理等の対価 受託会社分は、運用財産の保管・管理、投信会社からの運用指図の実行等の対価
(投信会社)	(15)	(0.216)	
(販売会社)	(26)	(0.378)	
(受託会社)	( 1)	(0.016)	
(b) その他費用	0	0.001	(b) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数 監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査にかかる費用 その他は、信託事務の処理に要する諸費用等
(監査費用)	( 0)	(0.001)	
(その他)	( 0)	(0.000)	
合計	42	0.611	

(注1) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は追加・解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。なお、その他費用は、このファンドが組入れているマザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。

(注2) 金額欄は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

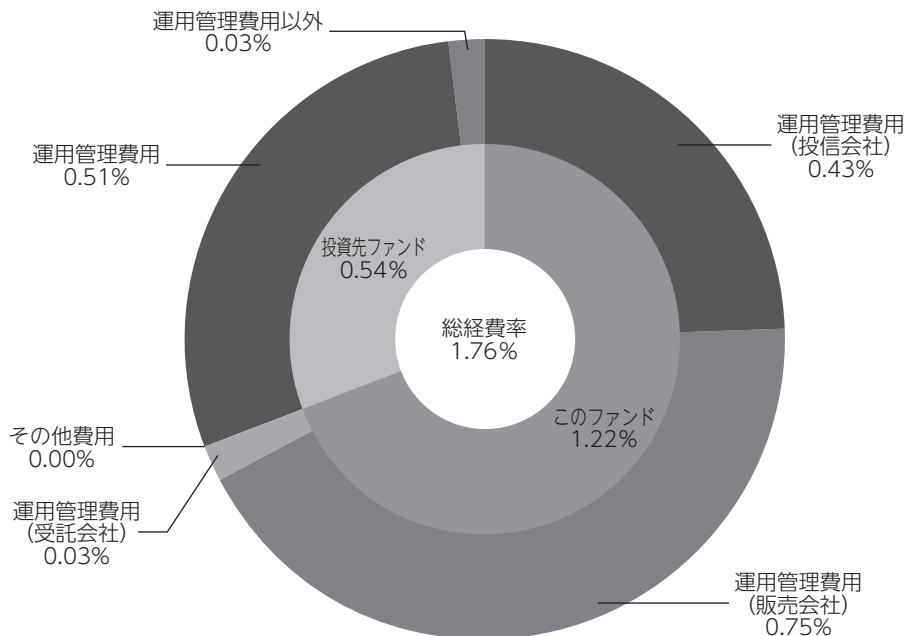
(注3) 比率欄は「1万口当たりのそれぞれの費用金額」を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

(注4) 各項目の費用は、このファンドが組入れている投資信託証券（マザーファンドを除く）が支払った費用を含みません。

**(参考情報)**

◆総経費率

当作成期中の運用・管理にかかった費用の総額を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は1.76%です。



総経費率 (①+②+③)	1.76%
①このファンドの費用の比率	1.22%
②投資先ファンドの運用管理費用の比率	0.51%
③投資先ファンドの運用管理費用以外の比率	0.03%

(注1) ①の費用は、1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注2) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注3) 各比率は、年率換算した値です。

(注4) 投資先ファンドとは、このファンドが組入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）です。

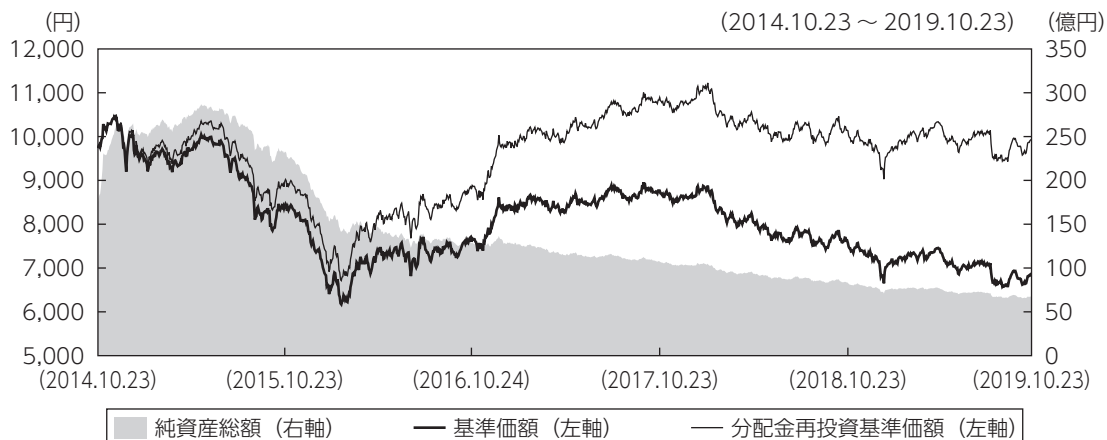
(注5) ①の費用は、マザーファンドが支払った費用を含み、投資先ファンドが支払った費用を含みません。

(注6) ①の費用と②③の費用は、計上された期間が異なる場合があります。

(注7) 投資先ファンドは、源泉税を含みません。

(注8) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率と異なります。

## 最近5年間の基準価額等の推移



- (注1) 分配金再投資基準価額は、税引前の分配金を再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- (注2) 分配金を再投資するかどうかについてはお客さまがご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。従って、お客さまの損益の状況を示すものではありません。
- (注3) 分配金再投資基準価額は、2014年10月23日の基準価額に合わせて指数化しています。

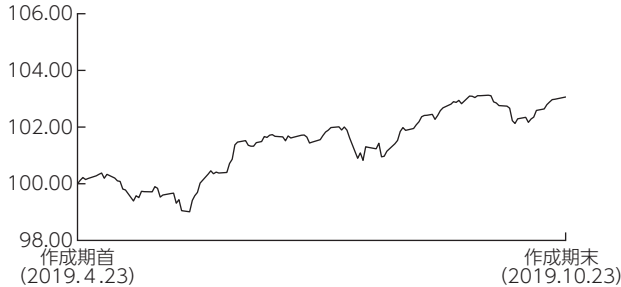
		2014年10月23日 期首	2015年10月23日 決算日	2016年10月24日 決算日	2017年10月23日 決算日	2018年10月23日 決算日	2019年10月23日 決算日
基準価額 (分配落)	(円)	9,735	8,421	7,601	8,767	7,570	6,817
期間分配金合計 (税引前)	(円)	-	600	600	600	600	600
分配金再投資基準価額の騰落率	(%)	-	△7.8	△2.0	23.8	△7.0	△2.0
純資産総額	(百万円)	17,491	23,251	12,814	10,759	8,297	6,740

(注) 当ファンドのコンセプトに適した指数が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数を定めておりません。

## 投資環境

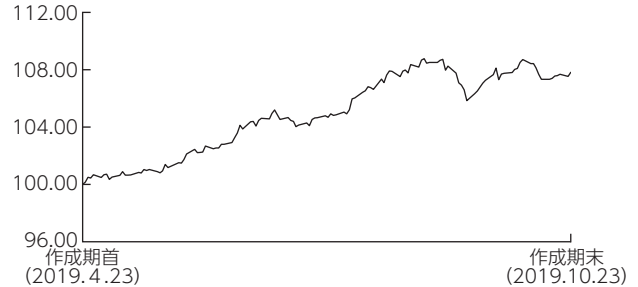
### ●米国の主要市況と為替市況

<米国ハイイールド社債の推移>



- (注1) 値はICE BofAML・US・キャッシュ・ペイ・ハイイールド・インデックス（米ドルベース）の前営業日のものを採用し、作成期首を100として指数化しています。
- (注2) ICE Data Indices, LLC（[ICE Data]）、その関係会社及びそれらの第三者サプライヤーは、明示又は黙示のいずれかを問わず、インデックス、インデックス・データ、及びそれらに含まれ、関連し、又は派生する一切のデータを含めて、商品性又は特定の目的若しくは使用への適合性の保証を含む一切の表明及び保証を否認します。ICE Data、その関係会社又はそれらの第三者サプライヤーは、インデックス、インデックス・データ若しくはそれらの構成要素の適切性、正確性、適時性又は完全性について、なんら損害賠償又は責任を負わず、インデックス、インデックス・データ及びそれらの全ての構成要素は、現状有姿において提供されるものであり、自らの責任において使用いただくものです。ICE Data、その関係会社及びそれらの第三者サプライヤーは、アセットマネジメントOne<sup>®</sup>又はその製品若しくはサービスを後援、推薦又は推奨するものではありません。

<米国投資適格社債の推移>



- (注1) 値はブルームバーグ・バークレイズ米国社債インデックス（米ドルベース）の前営業日のものを採用し、作成期首を100として指数化しています。
- (注2) ブルームバーグは、ブルームバーグ・ファイナンス・エル・ピーの商標およびサービスマークです。バークレイズは、ライセンスに基づき使用されているバークレイズ・バンク・ピーエルシーの商標およびサービスマークです。ブルームバーグ・ファイナンス・エル・ピーおよびその関係会社（以下「ブルームバーグ」と総称します。）またはブルームバーグのライセンサーは、ブルームバーグ・バークレイズ・インデックスに対する一切の独占的権利を有しています。

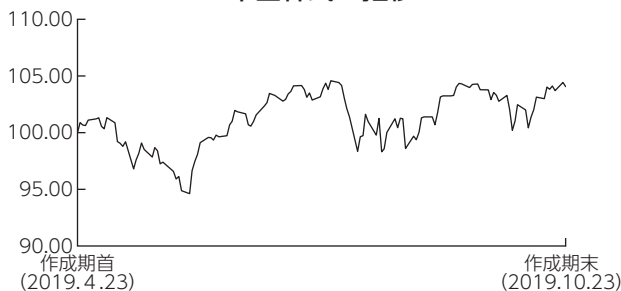
### <米国ハイイールド社債市場>

米国ハイイールド社債市場は上昇しました。8月上旬にトランプ米大統領が第4弾の対中関税引き上げを表明したことなどを受け、米中貿易問題に対する警戒感が高まったことや、米連邦準備制度理事会（FRB）が利下げを実施したことなどから、米国の国債利回りが低下したことが上昇要因となりました。対米国債スプレッドは拡大しました。

### <米国投資適格社債市場>

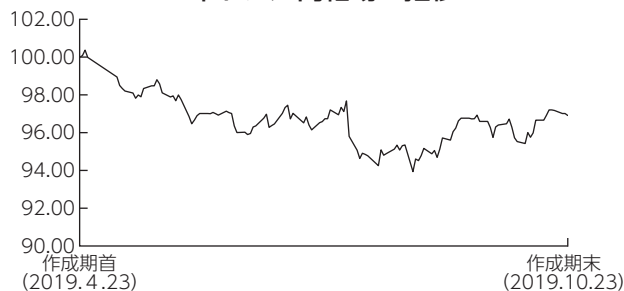
米国投資適格社債市場は上昇しました。上記の通り米国の国債利回りが低下したことなどが上昇要因となりました。

### <米国株式の推移>



(注) 値はS & P 500インデックス（配当込み、米ドルベース）の前営業日のものを採用し、作成期首を100として指数化しています。

### <米ドル/円相場の推移>



(注) 作成期首を100として指数化しています。

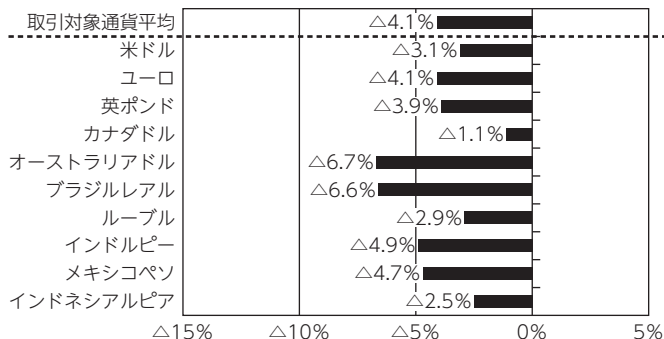
### <米国株式市場>

米国株式市場は上昇しました。作成期前半は、米国の利下げ観測の高まりや米国による対メキシコ制裁関税の発動が見送りとなったことなどが好感され上昇しました。その後、8月上旬にトランプ米大統領が第4弾の対中関税引き上げを表明したことなどから、米中貿易問題に対する警戒感が高まり下落したものの、作成期末にかけてはリスク選好的な投資環境となったことから上昇しました。

### <為替市場>

米中貿易問題に対する警戒感から、リスク回避姿勢が高まったことなどを背景に円高が進行し、取引対象通貨は10通貨ともに対円で下落しました。通貨別では、利下げ観測の高まりなどから豪ドルが下落したほか、ブラジルレアルがアルゼンチンのデフォルト（債務不履行）懸念などから下落しました。

### <取引対象通貨の対円での当作成期中の騰落率>



※MHAM短期金融資産マザーファンドの投資環境については、運用報告書（全体版）をご覧ください。

## ■ ポートフォリオについて

### ● 当ファンド

米ドル建ての外国投資信託「ストラテジック・インカム・ファンド（クラスMC）」受益証券の組入比率を高位に維持しました。また、保有する外国投資信託に対して為替ヘッジは行いませんでした。

### ● ストラテジック・インカム・ファンド（クラスMC）

世界の債券・株式等を主要投資対象とし、高いインカム収入を確保することを目指し、加えて値上がり益も追求しました。

また、取引対象通貨への投資効果を得るために、米ドル売り／取引対象通貨（米ドルを除く）買いの為替取引を行いました。

上記の通り運用を行った結果、基準価額（米ドル建て）は分配金再投資ベースで約0.4%上昇しました。主な変動要因は以下の通りです。

（主な上昇要因）

- ・ 保有する投資適格債券の価格が上昇したこと
- ・ 保有する株式等の価格が上昇したこと
- ・ 保有する債券の利息収入
- ・ 米ドルと一部の取引対象通貨との短期金利差による為替プレミアム

（主な下落要因）

- ・ 取引対象通貨のうち、豪ドルやブラジルリアルが対米ドルで下落したこと



<ポートフォリオの概況> 2019年9月27日現在

種別組入比率

種別	比率
株式等	6.5%
債券等	91.1%
転換社債	7.6%
非米ドル建て債	15.5%
その他債券等	0.4%
ハイイールド債券	44.5%
投資適格債券	6.4%
米国公債	16.8%
その他資産	2.4%

通貨別組入比率

順位	通貨名	比率
1	米ドル	84.5%
2	メキシコペソ	5.2%
3	ニュージーランドドル	4.4%
4	豪ドル	2.9%
5	カナダドル	2.9%

格付け別組入比率

種別	比率
A A A	18.4%
A A	0.0%
A	16.7%
B B B	8.5%
B B	41.1%
B	10.5%
C C C以下	2.6%
無格付け	2.2%

上位10銘柄の組入比率

順位	銘柄名	種別	通貨	比率
1	米国公債	米国公債	米ドル	10.3%
2	シティグループ	非米ドル建て債	ニュージーランドドル	4.4%
3	グループ・ワン・オートモーティブ	ハイイールド債券	米ドル	4.2%
4	A T & T	株式等	米ドル	4.1%
5	プレジジョン・ドリリング	ハイイールド債券	米ドル	4.0%
6	アルタミナ・ペルセロ	投資適格債券	米ドル	3.8%
7	メキシコ国債	非米ドル建て債	メキシコペソ	3.8%
8	トライ・ポイント・グループ	ハイイールド債券	米ドル	3.6%
9	ユナイテッド・ステイツ・スチール	ハイイールド債券	米ドル	3.2%
10	S Mエナジー	ハイイールド債券	米ドル	3.1%

(注1) 株式等にはR E I T等を含みます。その他債券等には他項目に分類されないもので、米国の地方債やバンクローン等を含みます。

(注2) その他資産は100%から各資産の組入比率の合計を差し引いたものです。

(注3) 組入比率は、各ファンドが主に投資対象とする「ストラテジック・インカム・ファンド」の運用を行うルーミス・セイレス社から提供されたデータに基づき、アセットマネジメントOne(株)が算出および表示しています。

(注4) 組入比率は、特段の記載がない限り「ストラテジック・インカム・ファンド」の純資産総額に対する割合を表示しています。

(注5) 格付けは、S & P、Moody's、Fitchの3社による格付けのうち、最も高い格付けを採用しています。(表記方法はS & Pに準拠) また、格付け別組入比率は、債券等の時価評価額に対する比率を表示しています。

※MHAM短期金融資産マザーファンドのポートフォリオの状況については、運用報告書(全体版)をご覧ください。

## 分配金

当作成期の収益分配金は、配当等収益の水準や基準価額の水準、市況動向等を勘案して、下記のとおりといたしました。なお、収益分配に充てなかった収益については、運用の基本方針に基づいて運用を行います。

### 分配原資の内訳（1万口当たり）

項目	第58期	第59期	第60期	第61期	第62期	第63期
	2019年4月24日 ~2019年5月23日	2019年5月24日 ~2019年6月24日	2019年6月25日 ~2019年7月23日	2019年7月24日 ~2019年8月23日	2019年8月24日 ~2019年9月24日	2019年9月25日 ~2019年10月23日
当期分配金（税引前）	50円	50円	50円	50円	50円	50円
対基準価額比率	0.70%	0.71%	0.70%	0.74%	0.73%	0.73%
当期の収益	44円	37円	42円	37円	38円	35円
当期の収益以外	5円	12円	7円	12円	11円	14円
翌期繰越分配対象額	1,164円	1,151円	1,144円	1,131円	1,119円	1,105円

(注1) 「当期の収益」および「当期の収益以外」は、小数点以下切捨てで算出しているためこれらを合計した額と「当期分配金（税引前）」の額が一致しない場合があります。

(注2) 当期分配金の「対基準価額比率」は「当期分配金（税引前）」の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。また、小数点第3位を四捨五入しています。

(注3) 「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後・繰越欠損補填後の売買益（含、評価益）」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「分配準備積立金」および「収益調整金」から分配に充当した金額です。

## 今後の運用方針

### ●当ファンド

米ドル建ての外国投資信託「ストラテジック・インカム・ファンド（クラスMC）」受益証券の組入比率を高位に維持します。

### ●ストラテジック・インカム・ファンド（クラスMC）

米国経済は、しばらくは減速傾向が続くものの、景気後退には至らないものと見ています。また、堅調な消費動向などを背景に米国経済は総じて良好とみられることは金利の上昇要因となる一方で、米国における物価上昇圧力が緩慢であることや米中貿易問題に対する警戒感、世界景気の減速懸念などが金利の低下要因となることから、上昇余地は限定的と考えられます。

ハイイールド債券は、米国経済が緩やかながらに拡大基調をたどるとみられることや、相対的に高い利回りを求める投資家需要が一定程度見込まれるとの見方を継続しており、引き続き配分を維持する方針です。一方、短期的には、米中貿易問題に対する警戒感やリスク回避的な市場環境への転換などには、留意が必要であると考えます。

投資適格債券は利回りが高く価格上昇を見込める銘柄に投資していく方針です。株式は業界地位が高く配当利回りが高い銘柄に着目していく方針です。

引き続き米国景気の拡大が見込まれることから、通貨配分は米ドルを中心とします。非米ドル建て債は、分散効果や利回り獲得などの観点から投資は継続するものの、ボラティリティが高まる可能性も考慮し選別して投資します。引き続き、米国経済の拡大による恩恵を受け、上昇が期待できる通貨の発掘には努めてまいります。

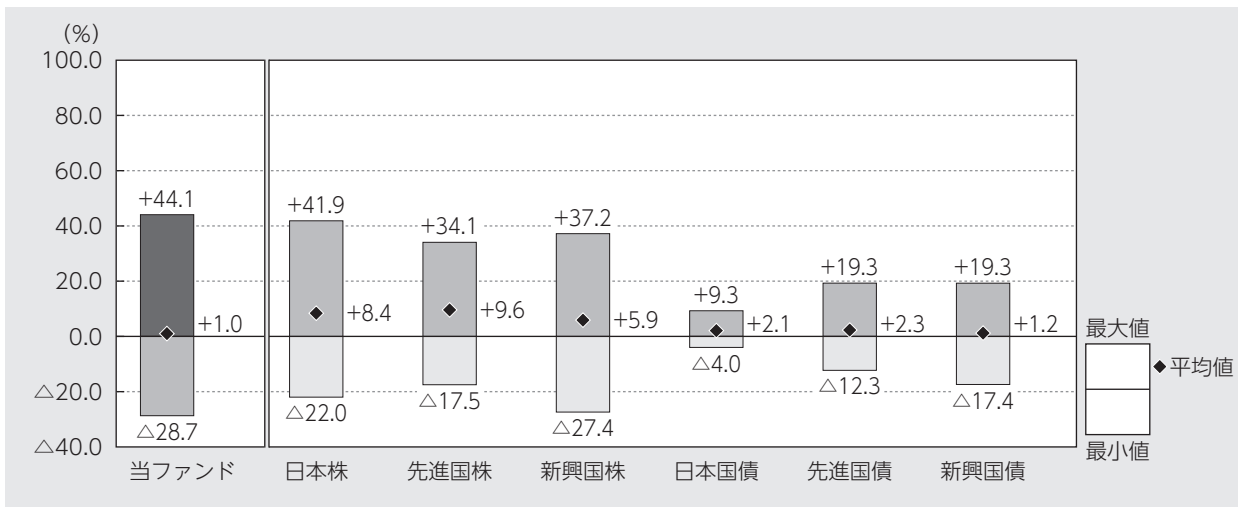
また、取引対象通貨への投資効果を得るために、米ドル売り／取引対象通貨（米ドルを除く）買いの為替取引を行います。

※MHAM短期金融資産マザーファンドの今後の運用方針については、運用報告書（全体版）をご覧ください。

## 当ファンドの概要

商品分類	追加型投信／内外／資産複合	
信託期間	2014年7月9日から2028年4月21日までです。	
運用方針	安定した収益の確保と信託財産の中長期的な成長を目指して運用を行います。	
主要投資対象	インカムビルダー（毎月決算型）世界通貨分散コース	米ドル建ての外国投資信託「ストラテジック・インカム・ファンド（クラスMC）」受益証券および円建ての国内籍投資信託「MHAM短期金融資産マザーファンド」受益証券を主要投資対象とします。
	ストラテジック・インカム・ファンド（クラスMC）	世界の債券および株式等を投資対象として分散投資を行います。
	MHAM短期金融資産マザーファンド	わが国の短期公社債および短期金融商品を主要投資対象とします。
運用方法	主として、ストラテジック・インカム・ファンド（クラスMC）受益証券への投資を通じて、世界（日本および新興国を含みます。）の債券および株式等に実質的に投資するとともに、複数通貨に分散する為替取引（米ドル売り、対象通貨買い）を実質的にを行います。なお、対象通貨については、原則10通貨を基本とし、保有資産の1／10程度ずつ、原則として米ドル売り・各取引対象通貨買いを行います。また、円建ての国内籍投資信託証券への投資を通じて、わが国の短期公社債および短期金融商品等に実質的に投資を行います。 当ファンドでは、直接保有する外貨建資産について、原則として為替ヘッジを行いません。	
分配方針	第2期以降の毎決算時（原則として毎月23日、休業日の場合は翌営業日）に経費控除後の繰越分を含めた配当等収益および売買益（評価益を含みます。）等の全額を分配対象額の範囲とし、分配金額は配当等収益の水準や基準価額の水準、市況動向等を勘案して委託会社が決定します。ただし、分配対象額が少額の場合には、分配を行わないことがあります。	

## 代表的な資産クラスとの騰落率の比較



当ファンド : 2015年7月~2019年9月  
 代表的な資産クラス : 2014年10月~2019年9月

(注1) すべての資産クラスが当ファンドの投資対象とは限りません。

(注2) 上記期間の各月末における直近1年間の騰落率の平均値・最大値・最小値を、ファンドおよび代表的な資産クラスについて表示し、ファンドと代表的な資産クラスを定量的に比較できるように作成したものです。なお、上記の騰落率は決算日に対応した数値とは異なります。

(注3) 当ファンドの騰落率は、税引前の分配金を再投資したものと計算しています。

### \*各資産クラスの指数

日本株…東証株価指数 (TOPIX) (配当込み)

先進国株…MSCIコクサイ・インデックス (配当込み、円ベース)

新興国株…MSCIエマージング・マーケット・インデックス (配当込み、円ベース)

日本国債…NOMURA-BPI国債

先進国債…FTSE世界国債インデックス (除く日本、円ベース)

新興国債…JPモルガンGBI-EMグローバル・ディバースィファイド (円ベース)

(注) 海外の指数は為替ヘッジなしによる投資を想定して、円換算しております。

※各指数については後掲の「代表的な資産クラスとの騰落率の比較に用いた指数について」をご参照ください。

## 当ファンドのデータ

### 当ファンドの組入資産の内容（2019年10月23日現在）

#### ◆組入ファンド等

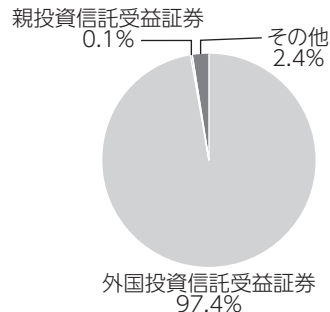
（組入ファンド数：2ファンド）

	第63期末
	2019年10月23日
ストラテジック・インカム・ファンド（クラスMC）	97.4%
MHAM短期金融資産マザーファンド	0.1
その他	2.5

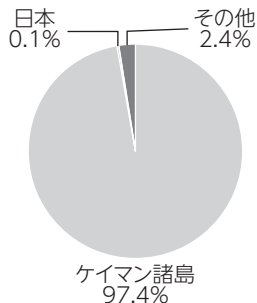
（注1）比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

（注2）現金等はその他として表示しています。なお、その他は未払金等の発生によりマイナスになることがあります。

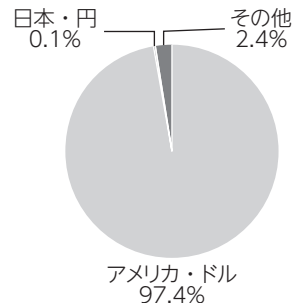
#### ◆資産別配分



#### ◆国別配分



#### ◆通貨別配分



（注1）比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

（注2）現金等はその他として表示しています。なお、その他は未払金等の発生によりマイナスになることがあります。

（注3）国別配分につきましては発行国（地域）で表示しております。

### 純資産等

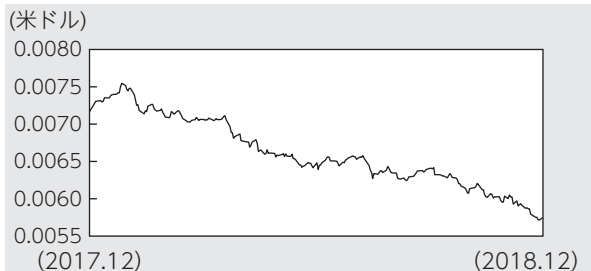
項目	第58期末	第59期末	第60期末	第61期末	第62期末	第63期末
	2019年5月23日	2019年6月24日	2019年7月23日	2019年8月23日	2019年9月24日	2019年10月23日
純資産総額	7,262,677,556円	7,178,787,958円	7,170,237,160円	6,713,359,328円	6,771,732,005円	6,740,182,173円
受益権総口数	10,239,176,428口	10,231,890,885口	10,140,009,697口	10,072,606,782口	9,944,860,952口	9,887,936,917口
1万円当たり基準価額	7,093円	7,016円	7,071円	6,665円	6,809円	6,817円

（注）当作成期間（第58期～第63期）中における追加設定元本額は304,877,044円、同解約元本額は748,722,274円です。

## 組入ファンドの概要

[ストラテジック・インカム・ファンド (クラスMC)] (計算期間 2018年1月1日～2018年12月31日)

### ◆基準価額の推移



### ◆1万口当たりの費用明細

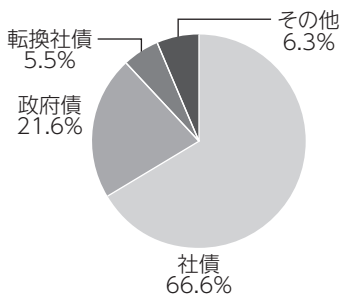
当該情報の取得が不可能なため開示しておりません。

### ◆組入上位10銘柄

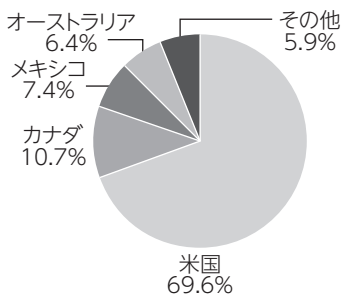
(組入銘柄数：111銘柄)

順位	証券名	資産種別	比率
1	TREASURY BILL	FIXED INCOME	6.1%
2	NEW S WALES TREASURY CRP	FIXED INCOME	4.5%
3	CITIGROUP INC	FIXED INCOME	4.4%
4	SM ENERGY CO	FIXED INCOME	4.4%
5	UNITED STATES STEEL CORP	FIXED INCOME	4.3%
6	TREASURY BILL	FIXED INCOME	4.1%
7	GROUP 1 AUTOMOTIVE INC	FIXED INCOME	3.7%
8	PRECISION DRILLING CORP	FIXED INCOME	3.5%
9	MEX BONOS DESARR FIX RT	FIXED INCOME	3.3%
10	AT&T INC	EQUITY	3.0%

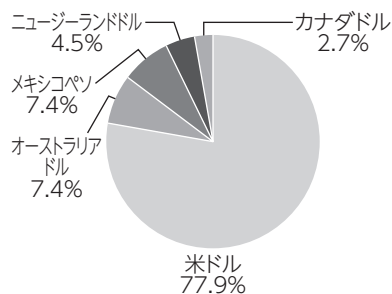
### ◆資産別配分



### ◆国別配分



### ◆通貨別配分



(注1) 上記は、委託会社が入手した直近の計算期間のものであります。

(注2) 組入上位銘柄、資産別・国別・通貨別配分は、当ファンドの実質的な投資先である「ストラテジック・インカム・ファンド」の内容になります。

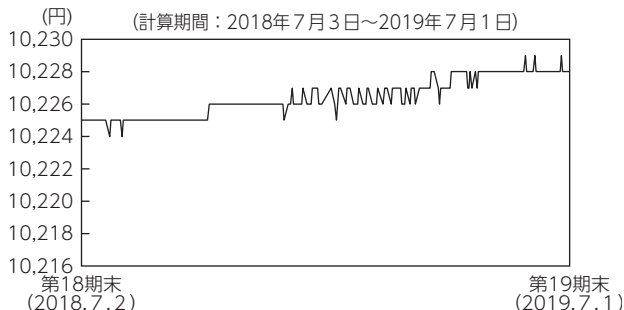
(注3) 比率は純資産総額に対する評価額の割合です。なお、国別・通貨別配分については、投資有価証券の合計に対する割合です。

(注4) その他は100%と配分比率の合計との差になります。

(注5) 当ファンドに関する情報等につきましては、運用報告書(全体版)に記載されています。

**[MHAM短期金融資産マザーファンド]**（計算期間 2018年7月3日～2019年7月1日）

◆基準価額の推移



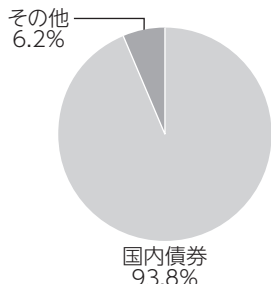
◆1万口当たりの費用明細  
該当事項はありません。

◆組入上位銘柄

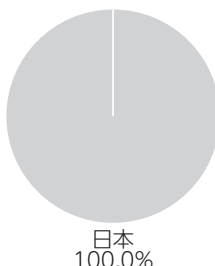
(組入銘柄数：15銘柄)

順位	銘柄	種別	利率	償還日	比率
1	平成21年度第6回 千葉県公募公債	地方債	1.41%	2019/09/25	11.0%
2	平成21年度第2回 北九州市公募公債	地方債	1.36%	2019/12/24	8.7%
3	平成21年度第10回 愛知県公募公債 (10年)	地方債	1.38%	2019/10/30	7.8%
4	平成21年度第1回 福井県公募公債	地方債	1.34%	2019/12/25	7.7%
5	第42回 川崎市公募公債 (5年)	地方債	0.101%	2019/12/20	7.4%
6	平成21年度第1回 徳島県公募公債	地方債	1.55%	2019/11/29	7.0%
7	平成21年度第5回 京都市公募公債	地方債	1.45%	2020/02/25	6.9%
8	平成26年度第3回 京都市公募公債	地方債	0.184%	2019/09/26	5.8%
9	第41回 川崎市公募公債 (5年)	地方債	0.163%	2019/09/20	5.7%
10	い第777号 農林債	金融債	0.25%	2020/02/27	5.5%

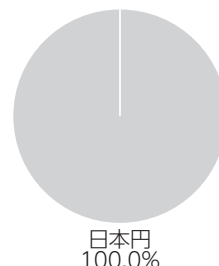
◆資産別配分



◆国別配分



◆通貨別配分



- (注1) 組入上位銘柄、資産別・国別・通貨別配分は当マザーファンドの直近の計算期間末のものであります。  
 (注2) 比率は純資産総額に対する評価額の割合です。なお、国別配分についてはポートフォリオの合計（除く現金）に対する割合です。  
 (注3) その他は100%と配分比率の合計との差になります。  
 (注4) 計算期間中の運用経過や組入全銘柄に関する詳細な情報等につきましては、運用報告書（全体版）に記載されています。



## <代表的な資産クラスとの騰落率の比較に用いた指数について>

- 「東証株価指数（TOPIX）」は、東京証券取引所第一部に上場されているすべての株式の時価総額を指数化したものです。同指数は、株式会社東京証券取引所（㈱東京証券取引所）の知的財産であり、指数の算出、指数値の公表、利用など同指数に関するすべての権利は、(株)東京証券取引所が有しています。
- 「MSCIコクサイ・インデックス」は、MSCI Inc. が開発した株価指数で、日本を除く世界の主要先進国の株価指数を、各国の株式時価総額をベースに合成したものです。同指数に関する著作権、知的財産権その他一切の権利はMSCI Inc. に帰属します。また、MSCI Inc. は同指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。
- 「MSCIエマージング・マーケット・インデックス」は、MSCI Inc. が開発した株価指数で、新興国の株価指数を、各国の株式時価総額をベースに合成したものです。同指数に関する著作権、知的財産権その他一切の権利はMSCI Inc. に帰属します。また、MSCI Inc. は同指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。
- 「NOMURA-BPI国債」は、野村證券株式会社が国内で発行された公募利付国債の市場全体の動向を表すために開発した投資収益指数です。同指数の知的財産権その他一切の権利は野村證券株式会社に帰属します。なお、野村證券株式会社は、同指数の正確性、完全性、信頼性、有用性を保証するものではなく、ファンドの運用成果等に関して一切責任を負いません。
- 「FTSE世界国債インデックス(除く日本)」は、FTSE Fixed Income LLCにより運営され、日本を除く世界主要国の国債の総合収益率を各市場の時価総額で加重平均した債券インデックスです。同指数はFTSE Fixed Income LLCの知的財産であり、指数に関するすべての権利はFTSE Fixed Income LLCが有しています。
- 「JPモルガンGBI-EMグローバル・ディバーシファイド」は、J. P. モルガン・セキュリティーズ・エルエルシーが公表している新興国の現地通貨建ての国債で構成されている時価総額加重平均指数です。同指数に関する著作権等の知的財産その他一切の権利はJ. P. モルガン・セキュリティーズ・エルエルシーに帰属します。また、同社は同指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。

(このページは白紙です)

(このページは白紙です)

